

5月11日午後の子どもの権利ブース

- ・学校の授業中に児童がトイレに行きたいといえない
- ・5分休みではとても間に合わない
- ・問い詰めが強いと言い出せない。お漏らしをさせている状況
- ・先生も弱みを見せられる安心な環境
- ・専門職である先生へのケアが必要
- ・気が付いてない勘違いやマルトリートメント（自尊感情を傷つける）
- ・先生には上からも横からも支援が必要
- ・定期的に先生も心理士の面談を受けれたほうがよい
- ・先生の孤立もあるのでは
- ・コミュニケーションと環境が大事
- ・先生に必要な研修として人間を学ぶことに重点を置いてほしい
- ・支援急と通常級がインクルーシブになるメリットが探求の一色小にはあった
- ・教科制で先生が入れ替わり、こども、大人のコミュニケーションが進んだ
- ・二宮学園の学年交流があればタガを外すきっかけになるのでは
- ・日常的な交流がないと二宮学園とは言えない。
- ・星山先生を各行に呼んでんでほしい
- ・先生もはらっぱベースを観てほしいが授業時間と重なる
- ・暇がいけないという思い込みがあり、常に何かをする。ぼーっとしてもよいのでは
- ・失敗してもよいと言いながら最後まであきらめないという
- ・タブレットに侵食されない off が大事
- ・保護者にこどもの権利をどうしたら自分ごとに考えてもらえるか
- ・大人同士で議論がしにくい
- ・対話の学び、練習が必要
- ・シェア二宮こそ対話の場にふさわしい
- ・大人の学び直し、基本的人権など
- ・親支援は学校にはできない、しかも個別最適でなくては
- ・マインドマップなど活用できる
- ・条例制定に向けたロードマップが欲しい
- ・住民グループに出張して意見を聞く必要